

- 問1 沖縄県などの南西諸島で見られる伝統的な住居では、屋根の瓦を白っぽい漆喰（しっくい）で固めたり、敷地の周囲をサンゴ礁の石垣で囲んだりする工夫が見られます。このような工夫がなされている理由として最も適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）
1. 冬の厳しい積雪によって屋根が押しつぶされるのを防ぐため
 2. 周辺の森林から野生動物が敷地内に侵入するのを防ぐため
 3. 大規模な地震が発生した際の家屋の倒壊を抑制するため
 4. 夏から秋にかけて頻繁に襲来する台風の強風被害を防ぐため
- 問2 鹿児島県における豚の飼育状況について、1970年代から2010年代にかけての変化を説明した文として、適切なものはどれですか。（2015年 兵庫県公立入試 類似）
1. 飼育戸数が減少する一方で、一戸あたりの飼育頭数が増加し、経営規模が拡大した。
 2. 飼育戸数と飼育頭数がともに減少し、県全体の生産体制が縮小した。
 3. 飼育戸数が急増したことにより、一戸あたりの飼育頭数が制限されるようになった。
 4. 飼育戸数は横ばいだが、一戸あたりの飼育頭数が減ったため、生産効率が低下した。
- 問3 鹿児島県において、豚の飼育頭数が全国第一位となるなど、畜産業が地域を代表する産業へと発展した背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものはどれか。（2019年 三重県公立入試 類似）
1. 海岸沿いに広がる砂丘地帯を大規模に開発し、塩害に強い特性を持つ家畜を専門的に育てるための施設が集中した。
 2. 険しい山地が多く平地が限られているため、山の斜面を切り開いた段々畑を作り、そこで得られた飼料を用いて小規模な畜産業が行われるようになった。
 3. 水はけの悪い低湿地が広がっているため、土地改良を繰り返すことで牧草の生育を促し、乳牛を育てる酪農を中心とした産業構造へと変化した。
 4. 火山灰層が厚く堆積したシラス台地は、水はけが良すぎて稲作に不向きであったため、乾燥に強いサツマイモの栽培や、広い土地を必要とする家畜の飼育が選ばれた。
- 問4 鹿児島県などの畜産が盛んな地域では、1970年代から近年までの統計において、豚を育てる農家の数は著しく減少していますが、県全体の飼育頭数は高い水準を維持しています。このような、一戸あたりの飼育頭数が増えて経営の規模が拡大することを何といいますか。（2015年 兵庫県公立入試 類似）
1. 畜産業の大規模化
 2. スマート農業の導入
 3. 施設園芸農業の普及
 4. 地産地消の推進
- 問5 宮崎県の農業や地形的特徴に関する説明として、背景や現状を正しく述べたものはどれですか。（2020年 滋賀県公立入試 類似）
1. リアス海岸の入り江を利用した真珠やカキの養殖が産業の柱であり、内陸部の畜産業は県北の一部に限られている。
 2. 夏の冷涼な気候を活かしたキャベツやレタスなどの高原野菜の栽培が中心であり、畜産業は小規模に留まっている。
 3. シラス台地が広がり水持ちが悪い土地を活かして、食用鶏などの畜産業や、温暖な気候を利用した茶の栽培が盛んに行われている。
 4. 広大な平野部を利用した稲作の単作地帯であり、米の生産量が県内農業産出額の大部分を占めている。
- 問6 那覇市の気候統計における気温と降水量の特徴について、札幌市、松本市、高松市、福岡市と比較した記述として正しいものを選択してください。（2024年 栃木県公立入試 類似）
1. 南西諸島に位置するため、1月の平均気温が札幌市や福岡市を下回る月があり、冬の乾燥が非常に激しい。
 2. 1月と7月の月平均気温の差が松本市よりも大きいことが、亜熱帯に近い那覇市の気候の大きな特徴である。
 3. 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。
 4. 日本の最南端に位置するため、年平均気温は福岡市よりも高いが、年間の総降水量は瀬戸内の高松市よりも少ない。
- 問7 北九州工業地帯は、明治時代に官営八幡製鉄所が建設されて以降、日本の重工業を支えてきました。この地域の産業構造の変遷と現状について述べた文として、正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 沿岸部の埋め立て地に大規模な製粉・製糖工場が集まり、食料品工業が産業の柱へと成長した。
 2. 豊富な石炭資源を背景に、現在も鉄鋼業を中心とした金属工業の割合が製造品出荷額の過半数を占めている。
 3. 瀬戸内工業地域と同様に、大規模な石油化学コンビナートが形成され、化学工業が主要な産業となっている。
 4. 近年は自動車工場などの進出が進み、金属工業に代わって機械工業の割合が最も高くなっている。
- 問8 九州地方に位置するある県に関する統計において、第1次産業の就業者割合が10%を超えており、農業産出額が4000億円を上回る全国有数の規模となっています。また、この県の製造品出荷額で最も大きな割合を占める品目が「食料品」であるとき、あてはまる県名はどれですか。（2016年 山形県公立入試 類似）
1. 山形県
 2. 千葉県
 3. 鹿児島県
 4. 静岡県
- 問9 地形図において、標高の高い平坦な面である「台地」の部分に、アルファベットの「V」の字に似た地図記号が多数記されている場所があります。シラス台地におけるこの場所の状況を説明した文として適切なものを選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 水はけの良さを利用して、サツマイモや飼料作物などが栽培される畑になっている。
 2. 火山灰の飛散を防ぐために、落葉広葉樹が植えられた森林になっている。
 3. 雨水を溜めるための調整池が並び、水田地帯になっている。
 4. 地力を高めるために、果樹の苗木を植えたばかりの果樹園になっている。
- 問10 九州地方の火山に関連する地理的事象とその影響について、背景や理由を含めた記述として最も適切なものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 火山地帯では地下深くに高温の蒸気や熱水が存在するため、これを取り出してタービンを回す発電方式が、再生可能エネルギーの一つとして活用されている。
 2. シラス台地は養分を豊富に含んだ火山灰で構成されているため、肥料を与えずとも高い収穫量が得られることから、九州最大の野菜供給地となっている。
 3. 火山地帯は地盤が非常に強固であるため、大規模な工業団地や製鉄所の建設に適しており、北九州工業地帯の発展を支える要因となった。
 4. 活火山周辺では噴火による降灰被害を防ぐため、広大なカルデラ内は居住や農業が厳しく制限され、主に無人の発電施設のみが設置されている。
- 問11 九州地方の地理的環境とエネルギー産業について述べた次の文のうち、大分県の特徴について背景を含めて説明したものとして、正しいものはどれか。（2024年 愛知県公立入試 類似）
1. リアス海岸が続く複雑な海岸線を活かして、大規模な風力発電所を建設し、製造品出荷額の大部分をエネルギー産業が占めている。
 2. 南九州に位置する地理的条件から、地熱発電よりも日照時間の長さを活かした太陽光発電が産業の中心となっている。
 3. 阿蘇山などの火山帯に近い地理的条件を背景に、地下の蒸気を利用した地熱発電が発達し、全国有数の発電量を誇っている。
 4. 筑後川の下流域に広がる平野の地質を活かして、地熱発電よりも米の二毛作や麦の生産を優先して行っている。